

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成26年4月24日(2014.4.24)

【公表番号】特表2012-505794(P2012-505794A)

【公表日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【年通号数】公開・登録公報2012-010

【出願番号】特願2011-532243(P2011-532243)

【国際特許分類】

B 6 0 J 3/02 (2006.01)

【F I】

B 6 0 J	3/02	D
B 6 0 J	3/02	A
B 6 0 J	3/02	B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年3月10日(2014.3.10)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 6】

オープンチャネルの、及び前記キャリアは前記オープンチャネルに沿ってスライドする。前記車両バイザは、チャネルを備え、前記キャリアは前記チャネルに沿ってスライドする。好ましくは、前記スプリング機構は、前記ピボットロッドに圧縮力を提供する戻り止めスプリングアセンブリを備える。好ましくは、前記キャリアは前記チャネル内部にて圧縮される。好ましくは、所望にワイヤ量を減らすために、ワイヤが前記中空ロッド内を通り、前記オープンチャネルの側部に至る。好ましくは、前記キャリアの前記S O R - 動き用エンドトップが、さらに好ましくは前記チャネル内部に、設けられる。さらに好ましくは、前記エンドトップは、エンドキャップであり、最も好ましくは前記チャネルに堅く結合される。本発明の好ましい具現化例にあって、前記エンドキャップの表面は、前記キャリアの動きのための基準面を提供する。本発明のさらに他の好ましい具現化例にあって、前記車両のバイザは、結合され、好ましくは一緒に封止をなす二つの部分を有するバイザコアを備える。好ましい具現化例にあって、前記ピボットロッド、前記チャネル、ワイヤ及び／又は前記エンドキャップはこれらの部品が結合された後、バイザコアによって適切な場所に保持される。特に、前記チャネルが開放されている場合には、前記チャネルの前記端部の少なくとも一方は、縁取りされ、好ましくは前記キャリアへの鋭利な端部の接触を避けるために前記端部の少なくとも一方を折り返しさらに／或いは丸くする。さらに他の好ましい具現化例にあって、前記キャリアは前記チャネルの縁取りされ丸められた端部に係合されるスロットを備える。本発明の他の主体は、中実又は中空のバイザピボットロッド、前記バイザピボットロッドに係合するキャリア及びスプリング機構を備える車両バイザである。スプリング機構は、前記キャリアに少なくとも部分的にある。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 8】

図34は、一緒に封止をなす二つの部分1 0 1 . 1及び1 0 1 . 2によってなる

バイザコアを示す。両方の部分とも、好ましくは前記チャネルに直交して配置され、さらに前記コア内部にて前記チャネルに取り付けられるリップ 200 を備える。図 34 からわかるように、前記チャネルの終端領域にあって、エンドキャップは前記チャネルのなかに挿入される。前記エンドキャップのウェッジ 300 は前記チャネル終端を開ける。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

中空なバイザピボットロッド (110)、前記バイザピボットロッドに係合するキャリア (140) 及びスプリング機構 (130) を備える車両バイザ (100) であって、

前記スプリング機構 (130) は少なくも部分的に前記キャリア (140) 内にあり、

前記車両バイザ (100) は、開放された長手方向側部を有するチャネル (150) を備え、前記キャリア (140) は前記チャネル (150) に沿ってスライドし、

ワイヤ (160) が前記バイザピボットロッド (110) を軸方向に通り抜けて前記チャネル (150) の前記長手方向側部から出ることを特徴とする車両バイザ (100)。

【請求項 2】

前記チャネル (150) は、前記バイザの主本体に直接的に又はエンドキャップ (170、180) の使用を介して固定され、

前記キャリア (140) は前記バイザピボットロッド (110) に前記スプリング機構 (130) により取り付けられることを特徴とする請求項 1 記載の車両バイザ (100)。

。

【請求項 3】

前記スプリング機構 (130) は、前記バイザピボットロッド (110) に圧縮力を提供する戻り止めスプリングアセンブリを備えることを特徴とする請求項 1 または 2 の何れか一項に記載の車両バイザ (100)。

【請求項 4】

前記戻り止めスプリングは前記バイザピボットロッド (110) に対して回転するか或いは旋回することを特徴とする請求項 3 記載の車両バイザ (100)。

【請求項 5】

前記キャリア (140) の断面積は前記チャネル (150) の断面積よりも大きいことを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか一項に記載の車両バイザ (100)。

【請求項 6】

前記キャリア (140) は前記チャネル (150) の内部に抵抗スライド力を生成する絞まり嵌めによってはめ込まれることを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか一項に記載の車両バイザ (100)。

【請求項 7】

前記キャリア (140) は前記チャネル (150) の長手方向の端部と係合するスロットを有し、前記チャネル (150) 内の回転動作を低減するため、前記スロットは前記スロット内の中間に置かれた前記チャネル (150) の前記長手方向の端部を保持する傾斜壁を有することを特徴とする請求項 1 乃至 6 の何れか一項に記載の車両バイザ (100)。

【請求項 8】

前記キャリア (140) は付属物又は前記チャネル (150) 内部にて圧縮される分離付加スプリング (141) を有することを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか一項に記載の車両バイザ (100)。

【請求項 9】

エンドストップが前記キャリア (140) の取り付けのために設けられることを特徴と

する請求項 1 乃至 8 の何れか一項に記載の車両バイザ ( 1 0 0 )。

【請求項 1 0】

前記エンドストップは前記エンドキャップ ( 1 7 0 、 1 8 0 ) であることを特徴とする請求項 9 記載の車両バイザ ( 1 0 0 )。

【請求項 1 1】

前記エンドキャップ ( 1 7 0 、 1 8 0 ) は基準面を前記チャネルの終端に提供することを特徴とする請求項 1 0 に記載の車両バイザ ( 1 0 0 )。

【請求項 1 2】

一緒にになって封止をなしかつ結合された二つの部分からなるバイザコア ( 1 0 1 ) を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 1 1 の何れか一項に記載の車両バイザ ( 1 0 0 )。

【請求項 1 3】

前記バイザピボットロッド ( 1 1 0 ) 、前記チャネル ( 1 5 0 ) 及び / 又はワイヤ ( 1 6 0 ) は、前記二つの部分が結合された後に前記バイザコアによって適切な位置に保持され、及び / 又は前記エンドキャップ ( 1 7 0 、 1 8 0 ) はスクリューによる取り付けの使用によって保持される請求項 1 2 に記載の車両バイザ ( 1 0 0 )。

【請求項 1 4】

前記チャネル ( 1 5 0 ) の少なくとも一つの長手方向の端部は、丸められ、折り返され及び / 又は前記キャリア ( 1 4 0 ) と接触する鋭利な端部を避けるように丸められることを特徴とする請求項 1 乃至 1 3 の何れか一項に記載の車両バイザ ( 1 0 0 )。

【請求項 1 5】

前記キャリア ( 1 4 0 ) は前記チャネルの折り返された又は丸められた長手方向の端部に係合するスロットを有する請求項 1 4 記載の車両バイザ ( 1 0 0 )。